

# 株式会社SHOEI 2026年9月期第2四半期決算説明資料



**I** 2026年9月期第2四半期決算実績 P. 2

**II** 2026年9月期業績予想（現時点で変更せず） P. 8

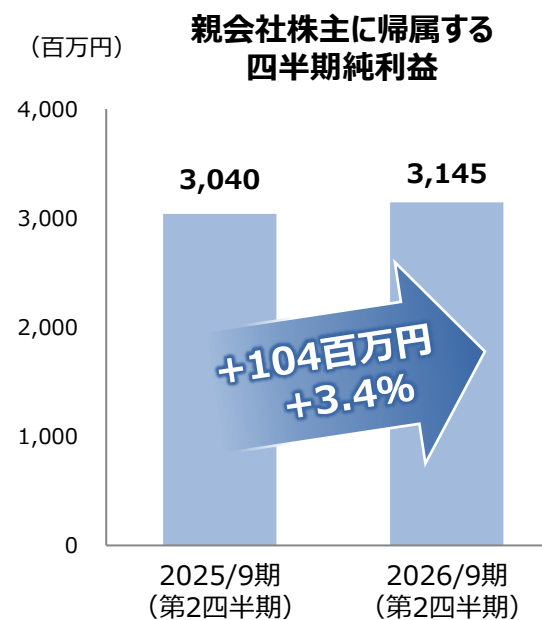
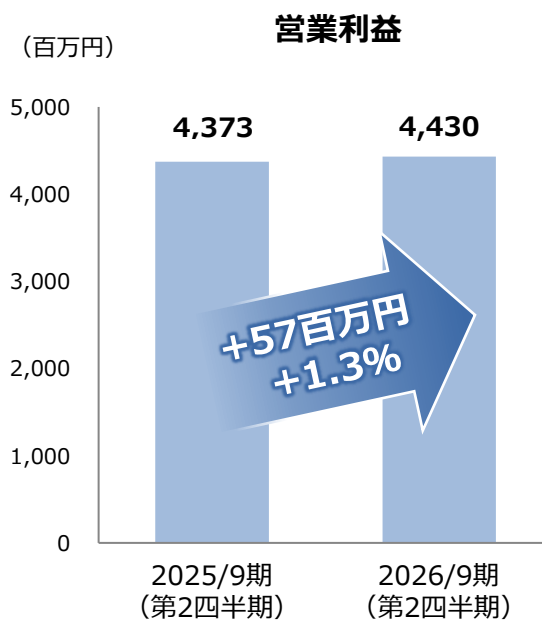
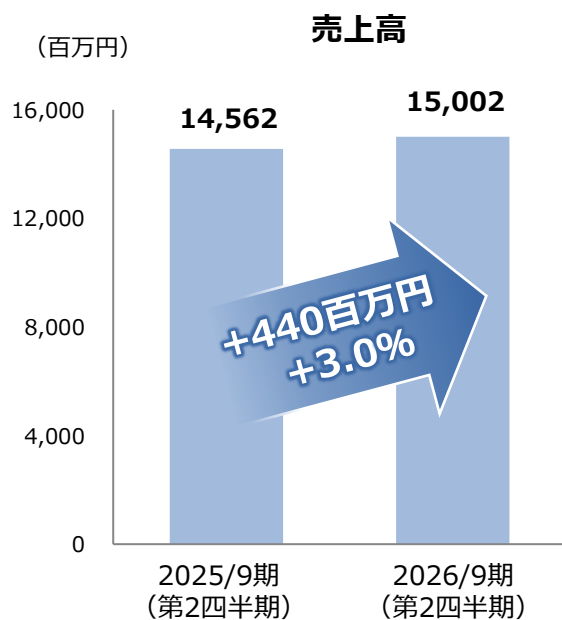
# I . 2026年9月期第2四半期決算実績



# ① 連結決算実績概要

## 2026年9月期第2四半期連結決算のポイント

- ① 連結販売数量は、欧州における販売低迷を主因に前年比2.3%減
- ② 売上高は、特にユーロに対して円安が進んだことにより、前年比+3.0%
- ③ 営業利益は、販管費こそ広告宣伝費など増加したが、円安効果が効いて前年比+1.3%



期中平均為替レート  
(2026年9月期2Q)

US \$ = 156.68円  
(前年比+3.73円)

EUR = 182.09円  
(前年比+20.55円)

海外子会社換算レート  
(2025/12末)

EUR = ¥184.33  
(前年比+19.41円)

## ②地域別販売個数・売上高（連結）



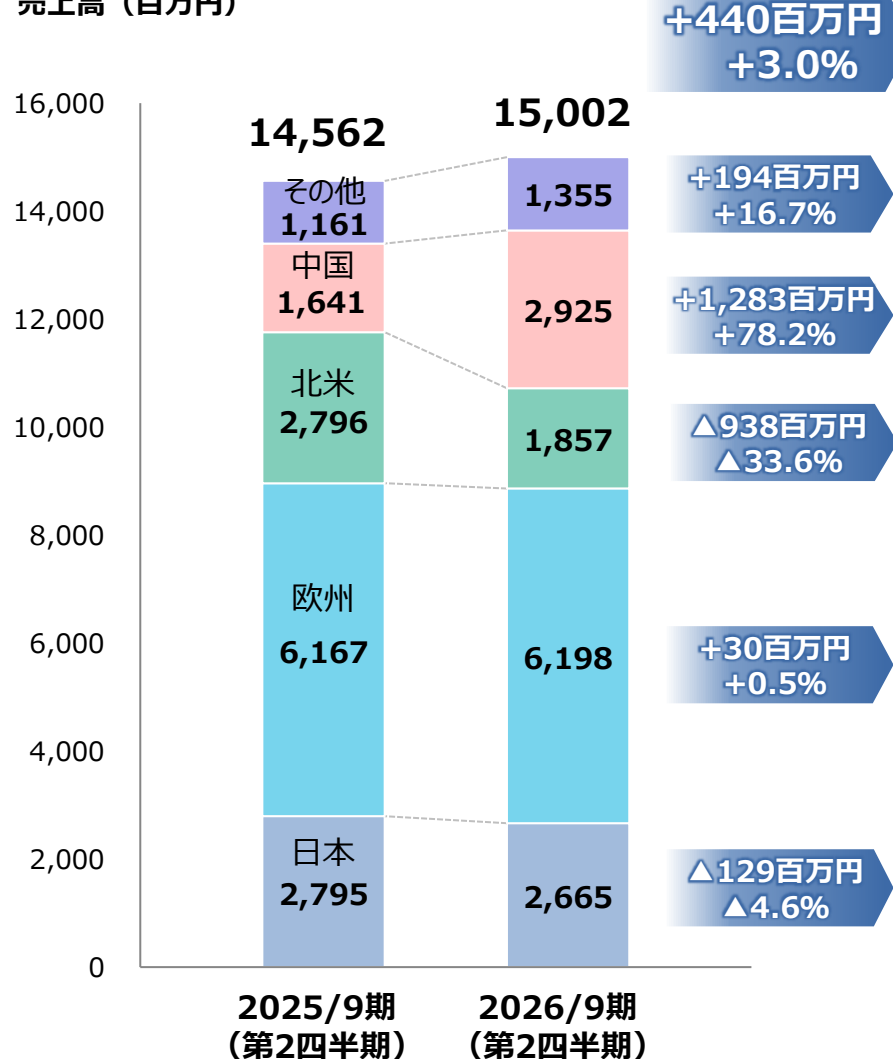
北米は前年の反動減、国内は期ずれもあり、両市場の販売個数は前年比減だが、予算比では微減。欧州の販売個数は消費低迷の継続により前年比減。中国の販売個数は前年の反動増を除いた予算比1割増。

### 地域別販売個数・売上高（連結）

販売個数（千個）



売上高（百万円）

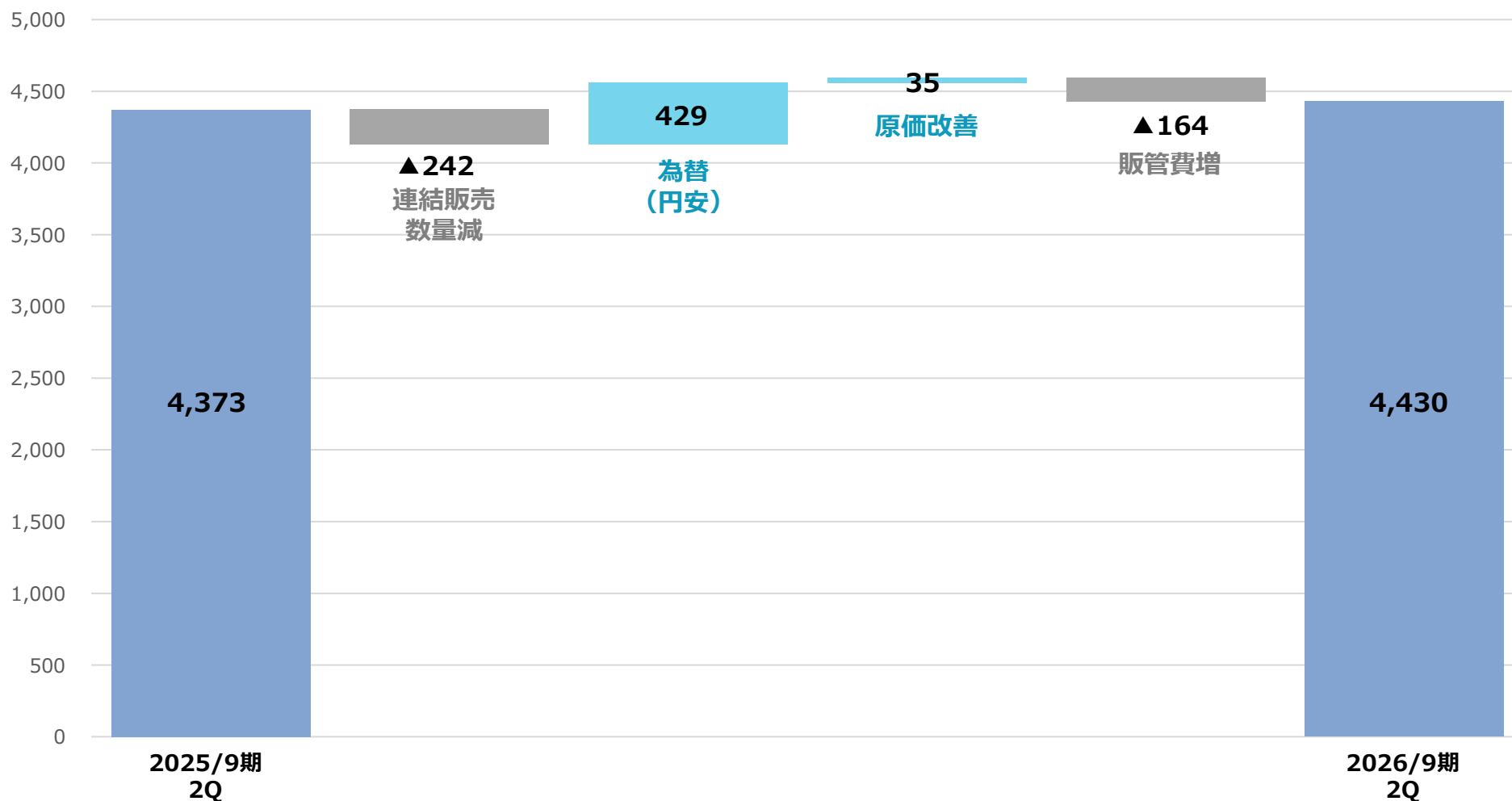


### ③ 連結営業利益増減要因（実績）



連結販売数量の減少や販管費増による減益要因を円安効果で打ち返し、営業利益は前年比微増となった。

(単位：百万円)



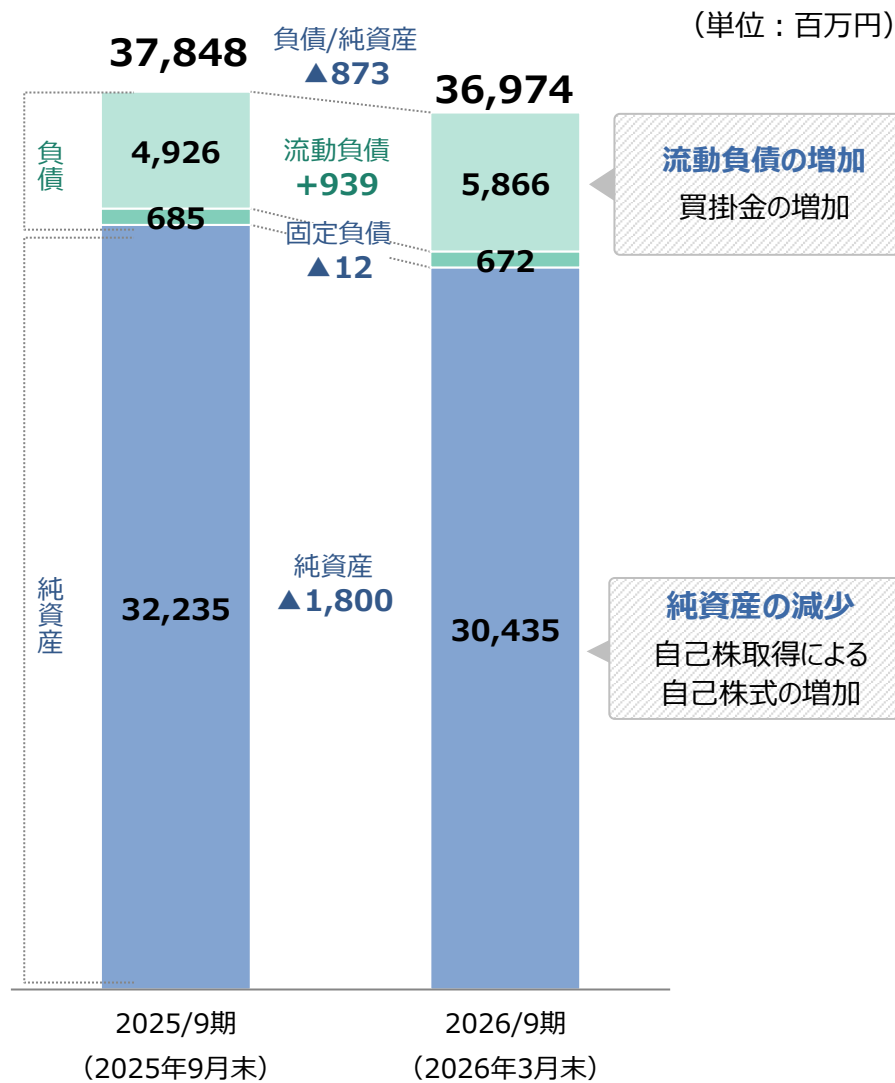
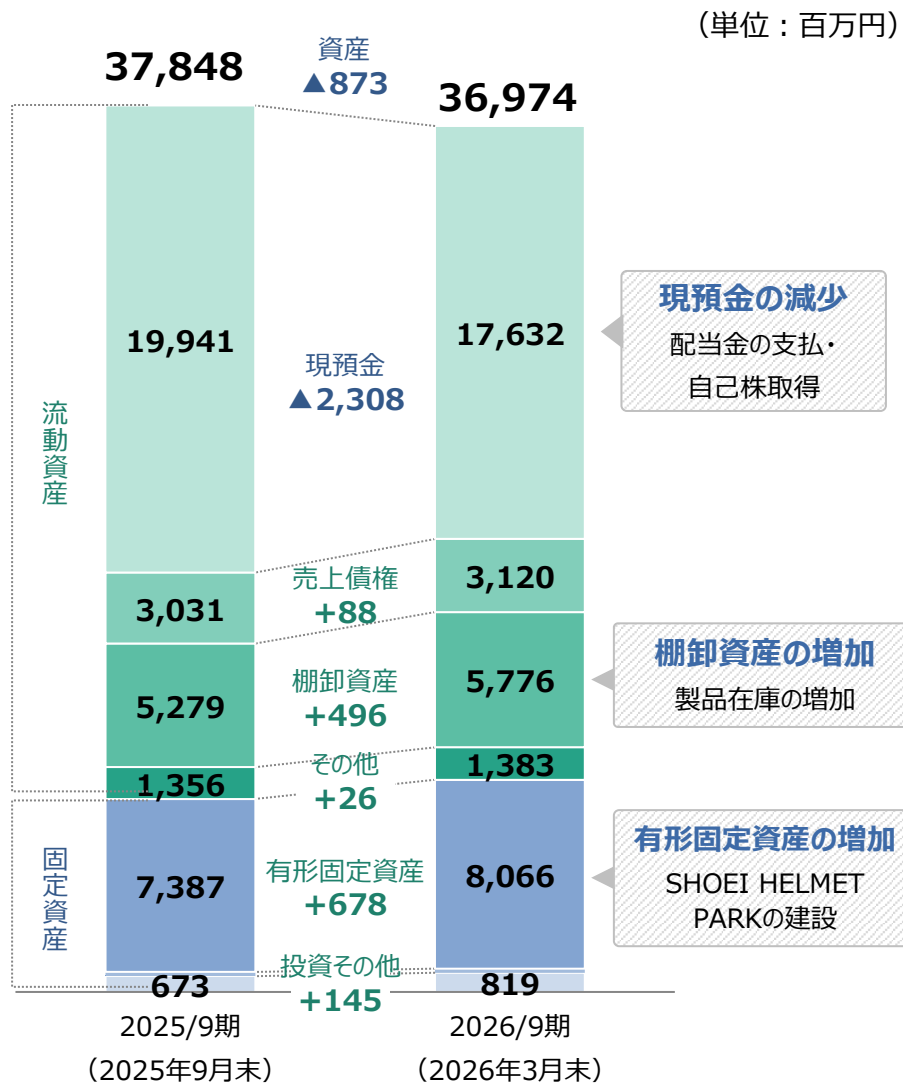
# 1. 2026年9月期第2四半期決算実績

## ④貸借対照表 (B/S) (連結)



### 資産

### 負債/純資産



自己資本比率 **85.1%** ▶ **82.3%**

## ⑤ 2026年9月期第2四半期トピックス



- 2026年1月、キャリーケース事業の第一弾「X-CORE」をmakuakeにて発売し完売。
- 英国バーミンガムにSHOEI Galleryをオープン。
- 今年も東京と大阪のモーターサイクルショーに出展、コラボヘルメットの初披露を中心に賑わいを見せた。

### キャリーケース「X-CORE」を発売し、開始から2時間弱で完売

2026年1月、makuakeにてキャリーケース事業の第一弾「X-CORE」を発売。

発売開始から2時間経たずして予定の700個が完売。

主にSHOEIヘルメットユーザーのお客様にご購入頂いた。



### 英国バーミンガムにSHOEI Galleryオープン

2026年2月オープン。  
パリ、バルセロナに続き3店舗目の海外進出



### 東京と大阪の『モーターサイクルショー』出展（2026年3月）

- ・ 毎年春の3日間に渡って東京及び大阪にて催されている、日本国内で最大規模のオートバイ、部品、用品の見本市『モーターサイクルショー』に出展。
- ・ 新モデルWYVERN の（ゼロ）を展示するとともに、昨年に続いてB'z 稲葉浩志、漫画『麒麟』、モーターカルチャーアーティストkiichiといった日本が誇る文化とコラボレーションしたヘルメットを発表。
- ・ 電子調光シールド e:DRYLENS 304といった新技術を活用した製品を披露。



## Ⅱ. 2026年9月期業績予想



## 2. 2026年9月期業績予想

### ① 連結売上・利益予想（現時点で変更せず）



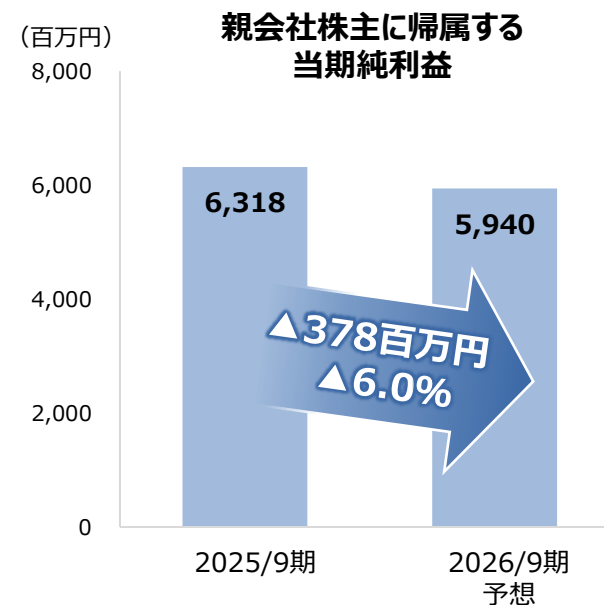
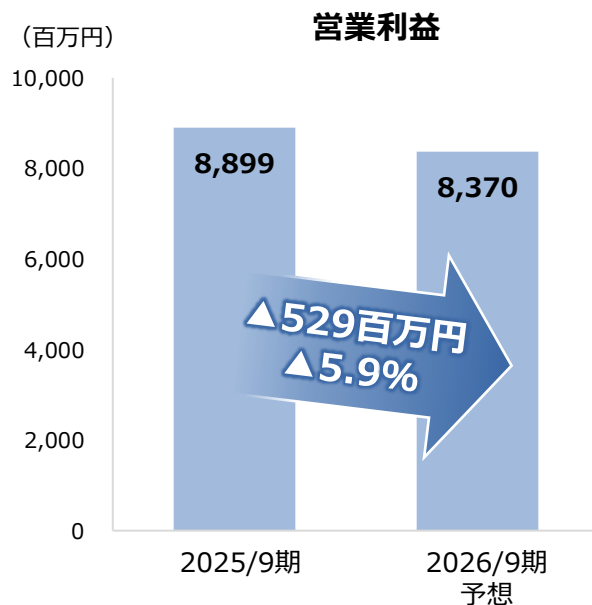
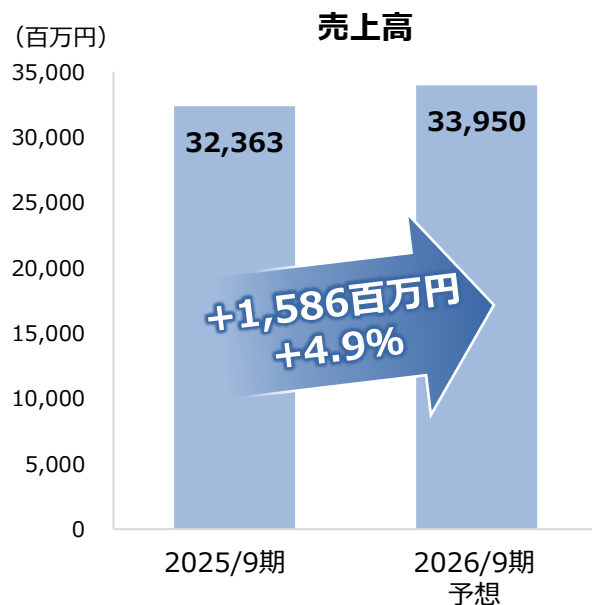
#### 連結売上・利益予想に関するポイント

第2四半期累計の連結業績については、欧州向け輸出が予算を下回ったため連結販売数量が計画比で若干下振れた。一方、上期を通じて円安となったため、各利益は計画比プラスで着地。

下期も上記の傾向は続くと思われるが、中東情勢を中心に不透明な要因があり、現時点において通期の連結業績予想は変更せず。

- ① 中東情勢に伴う一部原材料及び燃料上昇リスクおよび供給不足リスク
- ② 中東情勢が主要国の景気やインフレに間接的に悪影響を与えるリスク
- ③ 為替変動リスク

#### 【通期の連結業績予想（期初から変更せず）】



## ② 予想される機会とリスク（期初からアップデート）



「一定の前提のもと業績見通しを策定しましたが、多様なリスクに備えつつ、様々な機会を捉えて利益を増大させるため、最大限の自助努力を行います。」と期初に発表。主な進捗を以下に追記

## ➤ プラス要因

## ➤ マイナス要因

機会（オポチュニティ）	リスク
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 想定為替レートより円安               <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ドル・ユーロともに累計では想定為替レートより大幅な円安</li> </ul> </li> <li>✓ 需要好転による生産数量増</li> <li>✓ 付加価値向上や市場動向を踏まえた単価上昇               <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 単価の高いカーボンヘルメットは好調。欧州にてHUD(ヘッドアップディスプレイ)搭載対応のヘルメット（GT-Air Smart）の販売</li> </ul> </li> <li>✓ 工場を中心とする生産性向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 塗装工程等での想定以上のコストダウン</li> </ul> </li> <li>✓ 様々な工夫による費用縮減               <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 予算内でも費用対効果を勘案して費消</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 想定為替レートより円高</li> <li>✓ 地政学リスクの高まり等による景気後退               <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 中東情勢の悪化により、一部の原材料や燃料上昇リスク、一部原材料の調達不足リスクが高まっている</li> <li>➤ 一部の原材料や燃料の価格上昇は避けられないが、調達不足のリスクは現在のところ顕在化していない状況</li> <li>➤ 中東情勢の影響による海外向け製品の遅延は現在のところ発生していない</li> </ul> </li> <li>✓ 新モデル・新グラフィックの販売低調</li> <li>✓ 自然災害リスクの高まり</li> <li>✓ 関税引き上げによる需要減退               <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 米国関税は15%から10%に引き下げられることが決定し、期初に発表した▲3億円の利益影響は若干なりとも改善が期待できる見通し</li> </ul> </li> <li>✓ 中国市場における日本製品購入ボイコット運動</li> </ul>

### ③販売戦略 / 生産戦略

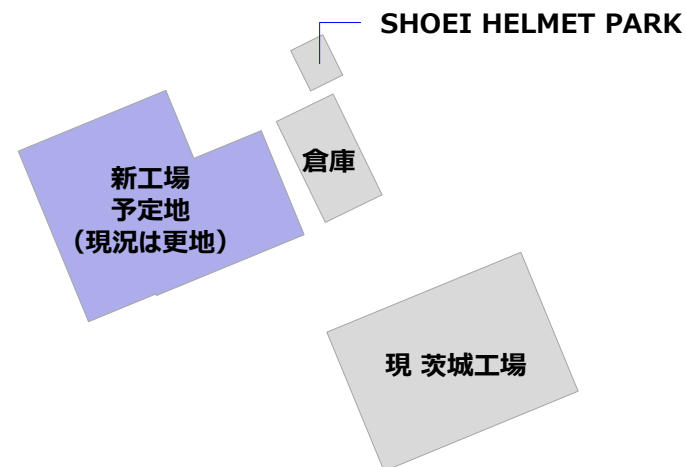


#### 販売戦略

欧州	特に主要国のドイツ・フランス・イタリアにおいて販売が計画を下回っているが、流通在庫は適正な水準を維持。新規グラフィックの投入に加え、HUD（ヘッドアップディスプレイ）搭載対応ヘルメット GT-Air 3 SMARTの出荷を開始するなど、需要を喚起する。昨年より欧州でのPFS（パーソナル・フィッティング・サービス）普及のため、本社よりドイツ子会社に人員を1名派遣しており、PFS施工率の向上を継続してサービス質向上を進める。
北米	為替も円安傾向であるため、下期の計画販売数を上回るよう、北米での人気シリーズを継続投入していく。
アジア	中国では、昨年に行った販売改革が奏功しており、販売が好調。PFSの普及をはじめとしてサービスの質向上に努める。タイ市場も市場は厳しい状況だが、減少傾向に歯止めをかけ、持続可能な販売体制を確立する。
日本	国内流通在庫の調整が完了しているなか、新商品やコラボ製品を含むグラフィックなどの投入とともに販促を強化し、需要期である下半期で数量を挽回する。3Dスキャナー計測器を用いた最新のPFS、「3D PFS」のサービスを開始。

#### 生産戦略

- 築60年超となる建物を含む現茨城工場に隣接する土地に新工場の建屋建設を決定（土地は2024年9月期に取得済み）
- 2027年末までに、その時に需要見通しや新規事業の展開を踏まえ、新工場のレイアウトや設備投資を決めて行く方針
- 2029年2月の竣工を予定



### ④商品戦略



- 好評を得ているカーボンヘルメットの生産効率向上、取扱店の拡大（日本）
- HUD（ヘッドアップディスプレイ）搭載対応ヘルメット GT-Air 3 SMARTの予約開始（欧州向け）
- 電子調光シールド e:DRYLENS 304（2026年3月発売）



X-Fifteen  
Carbon



GT-Air 3 SMART  
White



e:DRYLENS 304

新技術を  
ヘルメットに搭載し  
進化し続ける

- レーサーレプリカモデルの積極的な投入
- B'z 稲葉浩志、バイク漫画『キリン』、アーティスト・kiichi氏とのコラボを発表し話題を呼ぶ



X-Fifteen  
MARQUEZ9



X-Fifteen  
KAGAYAMA

需要喚起・  
非SHOEIユーザーの  
取り込み



Glamster  
Koshi Inaba  
(限定)



WYVERN ∅  
KIRIN MODEL  
(限定)



WYVERN ∅  
ZERO CODE  
(限定)



VFX-WR Malcolm  
Stewart27 (限定)



X-Fifteen  
LAWSON



X-Fifteen  
RAINEY



X-Fifteen  
TOPRAK

## ⑤ 今後予定されているブランド戦略



### SHOEI HELMET PARKオープン（2026年4月）

ブランド戦略の一環として、ミュージアム、ショールーム兼ショップ、飲食店をそなえたSHOEIの世界をまるごと体験できる施設をオープン。オープンからの3日間で来場者数は3,000人を超え、想定を上回る盛況を呈した。



茨城工場に隣接するSHOEI HELMET PARK



ミュージアム内  
ヘルメットタワー



併設飲食店  
SHOEI HELMET PIZZA

### SHOEI Gallery HELMET PARKオープン（2026年4月）

海外3店舗目となるSHOEI Gallery Birminghamに次いで、2026年4月にはSHOEI HELMET PARK内のSHOEI Galleryが加わり、全世界でSHOEI Galleryが10店舗に拡大。

代理店、販売店との共存のもと、今後ともギャラリー戦略を強化していく。



お客様からの  
生のご意見を得、  
開発に活用

SHOEIブランドを  
世界に発信・  
SHOEIファンの拡大



IRに関する  
お問い合わせ先

**株式会社SHOEI**

.....

電話

03-5688-5160

e-mail

ir@shoeihelmet.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。